

## 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

## ②事業者情報

名称：	荻島保育所	種別：	保育所
代表者氏名：	高橋 優子	定員(利用人数)：	120 名
所在地：	〒 343-0804 埼玉県越谷市大字南荻島330番地1	TEL	048-975-6517

## ③評価実施期間

令和 2 年 7 月 16 日 (契約日) ~ 令和 3 年 3 月 8 日 (評価結果確定日)

## ④総評

## ◇特に評価の高い点

【子どもの成長を見守り、子どもの持っている力を発揮させる保育が行われています】  
当保育所では年齢別保育を行っており、子どもの育ちを見守り、子どもの成長発達に即した支援を行っています。保育士は、各年齢に適した環境と教材を用意しています。3歳未満児は月齢差が大きく、子どもの成長差が生じているため、子どもの欲求や要求を満たす主体的な活動を促すよう支援をしています。場合によっては所庭を広く使ったり、散歩に出かけて自然と触れ合える機会を積極的に設けています。また3歳以上児に対しても、リズム運動を取り入れて心身の成長発達を促進させたり、「お店屋さんごっこ」で異年齢との関わる機会を設けるなど、子どもの持っている力を見守り、発揮できるような環境整備と指導を行っています。  
このように、各年齢に合った適切な支援を行うことで、子どもの成長を促しています。

【感染症対策をより丁寧に細やかな所まで行っています】  
昨年までは、朝夕方の時間に清掃が徹底して行っており、0歳児や1・2歳児の教室において、各年齢に応じた衛生管理を徹底していました。今年度はこれまでの衛生管理に加え、新型コロナ対策を実施しています。給食中は席を離して対面しないように同じ方向を向き、静かに食事をするよう園児に促しています。また、貸出用の絵本などを2つのグループに分け、2週間ごとに入れ替えを行い、片方のグループの本を消毒対応することで、絵本からの感染を防いでいます。といったきめ細かな取り組みもしています。更に感染者が出た際の処置を検討し、対応フローを確認しています。  
このように、感染症に留意しながら安心安全な環境整備に努めています。

【職員が創意工夫を行い、子どもが成長出来る環境を整えています】  
質の高いサービスを提供するため、職員が創意工夫しています。所庭を幼児用・乳児用とで分け、安全に走り回れる環境を整えています。また、事務所に園舎図を貼り、ヒヤリハットが発生した箇所を見える化することで、危ない場所を周知し、随時保護材を使用するなど対応しています。更に、「お楽しみ会」の劇においても、密にならないための動線の確保や音声テープの事前録音など、コロナ禍においても、限られたスペースの中で開催する方法を探し、実行しました。  
このように、制限のある環境の中でも子どもの成長出来る環境を作るため、職員が創意工夫を凝らしています。

◇特にコメントを要する点

【年齢別保育の良さを継続しながら、養護と教育がよりバランスよくなるように期待します】

全体計画では、0歳児の段階から養護・教育の両視点での支援を積み上げ、個々の主体性を重視した支援をするという内容になっています。当保育所では、養護の視点においては実際に行われています。一方で、教育の視点について、3歳以上児では、生活の中で数や言語の指導を行っています。あくまでも生活の中での取り組みが主になっており、保育内容としての教育が十分に保護者に伝わっていない状態になっています。利用者アンケートにおいても、「お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか」という問いに対し「はい」は60.4%に留まりました。自由記述にも「勉強などを取り入れてほしい。」という意見がありました。子どもの年齢に応じた教育の取り組みの強化するとともに、保護者への周知をより取り組むことを期待します。

【情報発信について更なる取り組みが望まれます】

調査年度時点は新型コロナの影響があり保護者が教室に入れなため、廊下のホワイトボードやクラスボードを使い、今後の予定や保育内容について情報周知をしています。写真も交えながら日々の活動内容を示しています。一方で利用者アンケートを見ると、情報公開について「園便りや掲示、連絡帳などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか」という問いに対し「いいえ」の回答した方が8.8%と、約1割の方は調査時の状況に不満を持っています。また、自由記述において、「行事の詳細について広報が遅く、仕事の都合をつけるのが大変。」「行事の日程の変更は変更理由まで教えてほしい。」といった意見もありました。当保育所として様々な取り組みを行っていますが、アンケート結果から、情報公開については改善の余地があるものと思われます。今後も職員で意見を出し合い、情報伝達がスムーズに不足なく行えるようにしていくことが望まれます。

【市と連携をして職員教育の体系を見直しすることが求められます】

当保育所では所内研修を行っています。主査が講師となり、職員全体に向けた内容の研修を行っています。これはあくまでも全職員向けに対しての研修であり、一人ひとりの成長や課題解決に向けたものにはなっていません。職員アンケートにおいて、「職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っているか」「職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されているか」という問いに対し、「はい」の回答がそれぞれ53.8%、59.0%に留まりました。

一方で所外研修については情報共有し、参加希望者がいれば参加出来るように調整しています。また、所長と各職員で行う年2回の面談では来期期待することについて話しています。今後は越谷市の職員として、一人ひとりの成長を加速していくため、職員一人ひとりの課題にあった研修プログラムを市全体で作っていくことが望まれます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今年度は新型コロナ感染症の流行に伴い、安心安全な環境整備に努めてきました。また、コロナ禍で様々な制限がある中、「今できる保育」「今だからこそできる保育」を職員全員で考え工夫し実行してきたことが、高く評価されたことで職員の自信に繋がりました。その反面、保護者への保育の養護面では、連絡帳やホワイトボード、保護者との会話等で事細かな配慮をして伝達できていましたが、教育面での保護者への情報発信の弱さにも気づくことができました。今後、文章や写真等で見える化し、保護者に十分伝わるように配慮していこうと思います。

職員の教育に関しては、今年度コロナ禍の中で行われた外部のリモート研修への参加、子ども育成課作成のパワーポイント研修を実践してきましたが、今年度できなかった分、来年度に向けて職員の資質向上に向けた研修計画を作成していくよう努めていきたいと思っています。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」とおり